



令和5年度

# 多北高 FRH 通信 第04号

令和5年8月4日(金)  
多北高 FRH 推進委員会  
探究推進部

## FRH講座 「AIと生物の交差点」

7月11日(火)の16:00~17:00、北舎2F 北辰教室会場で、本校卒業生、岐阜大学工学部2年生の今川義仁さんを講師としてとして、上記講座が実施されました。内容は大きく2つで、今川さんがこの夏にパリで合成生物学の研究発表をするお話と、AIの作り方についてのお話です。学部生のうちから研究がしてみたい人や、AIに興味がある人に最適な講座で、文系理系や物理/生物選択を問わず、興味深い内容でした。

<講座のようす>



<生徒の感想:参加をして学んだこと>

講話を聞くまでは、生物とAIが関わることについて、どんな形で交わるか想像がつかない。たけど、物理などでは追いつけないことAIを利用してるとわかって、全く別の分野でも何らかの形で交わっているということがわかりました。

合成生物学とはATGCの塩基配列から好きな生物をつくり出すことだと知りました。先輩は自分のやりたいこと(研究)をするために、DMを送ったり、独学でAIを学んだりなど積極的に動いていました。合成生物学は製薬業界から注目されていて、身近なところでもよく役に立つ技術だと分かりました。

私は、元々遺伝子組換えを通じて行うゲノム改変にすごく興味があったので、具体的な研究の仕方や自分の想像との差を感じながら学びました。自分から行動するこの大切さも痛感しました。今川さんが自分からサークルや教授にお願いしに行ったという聞き、自分から行動して、学習・吸収することは大切だと思いました。

<生徒の感想:考えたこと・伝えたいこと>

とにかく行動してみようと思う。先輩も東大のサークルに選抜されていると積極的に動いていた。私はOC(エスカレーター)でいいのでもう1、2校行こうかと思う。今からでも間に合うはずだ。工業大学に1校は行きたい。文系の脳科学で理学に行くのは無意味かもしれないが新たな視点を持つかもしれない。行ってみよう。

「AIを学ぶのに情報学部に入る必要はない」と言葉に衝撃を受けた。自らは情報系の仕事に就きたいと思っており、大学の志望学部(学科)も情報系を志望している。今日の講義で合成生物学よりAIに興味があり、参加した。しかし、参加して見る以上の発言。思いつく形で自分の進路を見直す機会と見た。固い思考はのりよか!! 将来に向けてflexibleな頭をこらしたい。